



「まちに開かれた芸術文化拠点」を目指す京橋彩区が開催する芸術文化講座。2020年度第8回は「能と狂言の魅力を探る～おはなしと実演～」です。狂言の奥津健太郎さんと能の梅若紀佳さんをお招きし、能楽をご紹介します実演もご覧いただけます。

< 2020年度第8回 >

能と狂言の魅力を探る ～ おはなしと実演 ～

能楽をみたことがありますか？今回は、狂言の奥津健太郎さんと能の梅若紀佳さんをお招きして、650年以上演じ続けられてきた能楽をご紹介します。

伝統芸能の能と狂言をあわせて能楽と言いますが、成立当初は庶民の娯楽のひとつでした。競合する様々な芸能に打ち勝って、豊臣秀吉や徳川家康といった権力者の芸能となりました。

講座では、古来、交互に演じられてきた能と狂言を比較しながらお話を進め、両者の共通点、相違点を理解していただきます。また実演もご鑑賞いただき、より深い能楽の世界への第一歩をご案内致します。時代によっては庶民は観ることすらできなかった能と狂言。ぜひお殿様の気分になってご覧ください。

日時：2021年1月27日(水) 18:30～20:00

会場：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
「オンライン講座」としてYouTubeにて配信します。

参加料：無料

申込方法：京橋彩区のお申し込みフォーム(<https://bit.ly/38fmXZ0>)、
右上のリンクボタン(またはQRコード)よりお申し込みください。

お申し込みフォーム
(京橋彩区)



※今後の状況により、延期・中止をさせて頂く場合も
ございますので、あらかじめご承知置きください。

< 出演者 >



奥津 健太郎 氏 (能楽狂言方和泉流)

故十三世野村又三郎信廣に師事。狂言の家として400年の歴史を持つ野村又三郎家に所属。東京藝術大学音楽学部邦楽科(能楽・狂言専攻)卒業。在学時には野村萬、野村万作両師(ともに人間国宝)の指導も受ける。日々の舞台に加え、狂言講座やワークショップを開催したり、能面制作を石原良子に師事するなど多岐にわたって活動。海外公演や国際交流にも積極的に参加している。「親子でたのしむ狂言の会」主催。「天籟能の会」同人主催。公益社団法人能楽協会正会員。



梅若 紀佳 氏 (能楽シテ方観世流)

能の家として600年の歴史を持つ梅若万三郎家に生まれる。祖父・三世梅若万三郎、父・梅若紀長に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科(能楽・シテ方専攻)卒業。3歳で初舞台以降、子方(子役)の舞台に多数出演し、2018年に能『羽衣』で初めてシテ(主役)を勤める。2019年には万三郎家が長年継続してきた海外公演の一環でスイス・ドイツ公演に参加した。能の魅力を分かりやすく伝える姿勢には定評がある。子供たちに向けた能楽鑑賞会なども主催している。